

たつの市臨時記者発表資料	
発表年月日	令和元年7月22日（月）
担当課	企画財政部企画課
電話	0791-64-3141

報道機関各位

「たつの市地域創生アイデアコンテスト2019」の開催について

大学生による、柔軟な発想や創造力、市外から見た若者の視点による新たな政策を募り、たつの市の活性化につなげる「たつの市地域創生アイデアコンテスト」を開催します。

1 開催日程

日時 7月28日（日）午後1時～午後5時（終了予定）

- ・ 事業説明
- ・ 政策アイデア発表（1グループ15分）
- ・ 審査
- ・ 表彰
- ・ 講評

場所 たつの市産業振興センター3階大ホール（たつの市龍野町堂本38番地1）

2 参加大学 4大学9グループ

- ①大阪大学 法学部国際公共政策学科 学生14名（3グループ）
- ②甲南大学 マネジメント創造学部マネジメント創造学科 学生8名（2グループ）
- ③同志社大学 政策学部政策学科 学生8名（2グループ）
- ④兵庫県立大学 経営学部事業創造学科 学生11名（2グループ）

3 政策提案テーマ「人口減少・少子高齢化への挑戦」

※政策提案テーマに向かって各グループで個別テーマを設定し提案します。
個別テーマ及び発表グループについては、別紙のとおりです。

4 これまでの活動

4月20日 キックオフ会議、市内視察

5月～7月 大学での調査・研究、たつの市等でのフィールドワーク活動

「たつの市地域創生アイデアコンテスト2019」個別グループ政策提案テーマ

大学名	グループ名	政策提案テーマ	提案概要
大阪大学	大阪大学赤井研究室 岡班	「Uターン促進のための愛着形成」	地域貢献を行っている人ほど地域への愛着度は高く、Uターンを促進するためには「愛着」が必要であることから、地域貢献を促すことをテーマとし、提言します。
	大阪大学赤井研究室 笹部班	情報の壁を取り除くことによる UIJターン促進	移住促進を阻害する要因として、移住先への不安が大きな課題として考えられるため、UIJターン促進に向けて、移住希望者の情報の障壁を取り除く政策を提言します。
	大阪大学赤井研究室 渡邊班	「オンラインサービスを活用した 福祉政策の認知・利用の促進」	若年層の流出抑制を主な目的とし、オンラインサービスをより有効活用することにより、需要が高い福祉政策の認知度の向上と、利用度の向上を目指します。
甲南大学	甲南大学たつの市研究チーム（A班）	広がる☆たつのブランド	私たちはたつの市に「物流・ロジスティクスの研究都市」を築く提案をします。具体的には播磨科学公園都市にドローンポートなどの実験場や研究所を作り、日本で最先端な物流システムを構築することで、新たな「たつのブランド」を生み出します。
	甲南大学たつの市研究チーム（B班）	「播磨科学公園都市×教育」	たつの市、特に播磨科学公園都市の人口問題に着目し、「より良い教育環境が人を集める」という仮説を立てました。 まずは現在の住民の方々の満足度を重視し、教育環境の改善や他所への宣伝・アピール方法を提案いたします。
同志社大学	同志社大学田中ゼミ チームA	たつの農業戦略ー女子の就農促進 による農業活性化の提案	農業の担い手として、女性の就農を促すことで、雇用創出、産業振興を目指す。経験産業とされてきた農業は、近年、ICTの活用等により、ワークライフバランスの確保が行いやすくなっている点に着目し、産業人材として女子就労に着目することで、少子化対策にもつなげる。
	同志社大学田中ゼミ チームB	たつの観光戦略ー誘客競争に勝つ ための周遊型観光の提案	たつの市を活性化すべく、隣接する姫路との連携を視野に入れながら、誘客競争に打ち勝つための観光振興プランを提案する。大人の癒しに着目し、都市のストレスから解放される観光プラン実践の可能性を、たつの市の資源に着目しつつ、提案する。
兵庫県立大学	兵庫県立大学 Aチーム	空き家の利活用	人口減少・少子高齢化への挑戦として空き家の利活用という視点から解決を試みる。 そこで私たちは、「空き家体験移住」を提案。空き家を有効に利用し、かつ定住化を目指すことにより人口減少・少子高齢化への改善策を図る。
	兵庫県立大学 Bチーム	観光事業と宿泊客	「宿泊観光客が少ない」というたつの市の課題に着目し、それを改善することでたつの市の経済成長を目的に、サイクリング事業を提案する。「たつのめぐりん♪」というたつの市の事業を基に強化すべき3つの内容について説明していく。